



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

# しらこぼと

## 2016.8

No.388

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



# 平成 28 年度(第 32 回)総会

平成 28 年 6 月 26 日(日)午後 1 時 30 分から、さいたま市民会館うらわ 5 階 503-505 集会室で、総会を開催しました。(文中敬称略)

## ●記念講演



森本國夫の司会で定刻に開始。来賓は(公財)日本野鳥の会普及室の堀本理華(写真右)と箱田敦只。記念講演は堀本の「支部と財団事務局の連携～裾野を広げた普及活動～」。

従来の普及活動モデルの裾野を広げた新しいモデルに基づき、小冊子プレゼント、会員を増やすための探鳥会、お試し人会などを進めていることを紹介しました。



## ●表彰式など



海老原美夫代表の開会の挨拶で総会が始まり、平成 27 年県内鳥見ランキング探鳥会参加回数部と観察鳥種数の部、両部門で 1 位の今村富士子(写真左)に表彰状と副賞が渡されました。

議長に佐野和弘、書記に長野誠治、議事録署名人に大坂幸男・田邊八州雄が選出されて、議事に入りました。

## ●平成 27 年度事業報告

海老原が事務局長として、映像をまじえ平成 27 年度事業について報告しました。

## 【普及活動関係】

普及部(部長:長野誠治)が担当した探鳥会は、年間 118 回(月平均 9.8 回)、参加者合計 4,635 人。その他リーダー研修会、年末講演会などを開催。普及部以外の会員の普及活動 24 件。

## 【保護活動関係】

見沼田んぼ・さいたま市&市民ネットワークの年間活動、10 月 31 日「多摩川河口の自然を考えるシンポジウム 2016」、2 月 13 日「佐渡のトキセミナー」、和白干潟ラムサール条約登録を求める署名活動などに協力。2 月 7 日さいたま市緑区環境講演会で、海老原が「世界につながる見沼田んぼの野鳥たち」を講演、など。

## 【調査研究関係】

研究部(部長:小林みどり)は、カモ・ハクチョウ類、シギ・チドリ類調査などを継続した。

記録委員会(委員長:榎本秀和)は、5 件の事例について検討して結果を『しらこぼと』誌上で発表し、県内野鳥チェックリスト 2016 年版を作成した。

## 【広報活動関係】

編集部(部長:山部直喜)は、会誌『しらこぼと』を年 12 回、合計 21,600 部発行した。

IT 委員会(委員長:浅見徹)は、探鳥会参加者、会員の増加をめざし、公式サイトの実践につとめた。

## 【総務・事務局関係】

会員数は引き続き減少。減少率は 1.4%。10 月 31 日～11 月 1 日の 2 日間、川越市内で関東ブロック協議会を主催した。関東ブロック 9 団体と本部から 50 名が集まり、会の未来に向けての意見を交換した。

## 【事業活動関係】

事業部(部長:大坂幸男)は、会の財政安定に貢献した。

事業報告の詳しい内容は、当会ホームページに全文掲載していますので、ご覧ください。

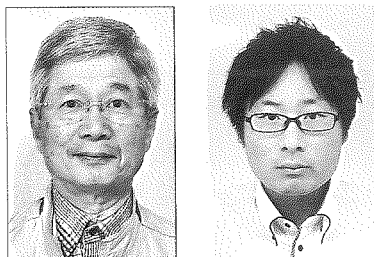
### ●平成 27 年度収支決算

平成 27 年度収支決算は右下表(誌面の都合で、一部の項目を合算したものを掲載します)の通りです。青木正俊・楠見邦博両監事が監査結果を報告しました。

### ●平成 28 年度事業計画・収支予算

平成 28 年度事業計画案は、通常の事業を継続します。28 年度予算案は、事業部会計から一般会計への補填が、27 年度の 40 万円から 30 万円に減額するものであることなどが説明され、ここまでの議事は 1 号議案(事業報告)と 2 号議案(決算)、3 号議案(事業計画)と 4 号議案(予算)がそれぞれ一括して、拍手で承認されました。

### ●平成 28 年度役員



前年度役員のうち持丸順彰(志木市)が退任を申し出ました。長年のご活躍、ありがとうございました。そのほかの 42 名を再任、近藤龍哉(写真左)、廣田純平(写真右)の 2 名を新任として選出する案が承認されました。

### ●代表、副代表など留任

総会を一旦中止して平成 28 年度役員による最初の役員会を同じ場所で開催、代表:海老原美夫、副代表:小林みどり・山部直喜、監事:青木正俊・楠見邦弘が留任することが承認されました。

### ●平成 27 年度役員

【代表】 海老原美夫(さいたま市)  
 【副代表】 小林みどり(さいたま市) 山部直喜(三郷市)  
 【幹事】 相原修一(鴻巣市) 浅見徹(さい

たま市) 新井巖(深谷市) 石井智(鴻巣市)  
 石川敏男(春日部市) 石塚敬二郎(さいたま市) 石光章(所沢市) 伊藤芳晴(川口市)  
 井上幹男(長瀨町) 人山博(春日部市) 榎本秀和(鴻巣市) 大坂幸男(上尾市) 小荷田行男(さいたま市) 近藤龍哉(上尾市) 佐野和宏(越谷市) 杉本秀樹(習志野市) 柴野耕一郎(さいたま市) 須崎聡(川口市) 鈴木秀治(ふじみ野市) 田邊八州雄(越谷市) 玉井正晴(蓮田市) 千島康幸(小川町) 手塚正義(川口市) 長嶋宏之(蓮田市) 中島康夫(蓮田市) 長野誠治(さいたま市) 中村豊己(東松山市) 野口由美子(上尾市) 橋口長和(春日部市) 長谷部謙二(川越市) 菱沼一充(白岡市) 菱沼洋子(白岡市) 廣田純平(上尾市) 藤掛保司(川越市) 茂木幸蔵(行田市) 森本國夫(さいたま市) 山口芳邦(新座市) 吉原早苗(北本市) 吉原俊雄(北本市)  
 【監事】 青木正俊(さいたま市) 楠見邦博(さいたま市)

日本野鳥の会埼玉 平成 27 年度決算・28 年度予算

収入の部			
	項目	27年度決算	28年度予算
一般会計	期首繰越金	333,194	311,542
	会費	2,709,650	2,700,000
	その他	599,692	611,000
	事業部会計から	400,000	300,000
	一般会計合計	4,042,536	3,922,542
事業部会計	期首繰越金	2,698,848	2,413,055
	運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
	事業部売上金	655,790	650,000
	事業部雑収入	10,816	5,000
	事業部会計合計	8,365,454	8,068,055
総合計		12,407,990	11,990,597
支出の部			
	項目	27年度決算	28年度予算案
一般会計	会報印刷費	1,202,688	1,250,000
	会報発送料	776,575	790,000
	家賃	984,000	984,000
	その他	767,731	875,000
	期末繰越金	311,542	23,542
	一般会計合計	4,042,536	3,922,542
事業部会計	運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
	一般会計へ	400,000	300,000
	その他	552,399	502,000
	期末繰越金	2,413,055	2,266,055
	事業部会計合計	8,365,454	8,068,055
総合計		12,407,990	11,990,597

## 鳥見をしていると…

石川敏男（春日部市）

野外でこんな場面に遭遇しました。この時の経験が参考になればと思い、投稿しました。

**その1**：2016, 6/23 AM10:00頃、自転車で家庭菜園へ向かう途中、舗装道のど真ん中に土の塊が見えた。近づいて見ると、甲羅全体に田んぼの泥がべっとり付着したカメ(1匹)だった。すぐ近くの水田から道路に這い出てきたと推定される（下写真）。

第一印象は日本産ではなく外来種。甲羅が分厚く、体全体に厚みがあり、まずは三角形、口吻はやや尖る。あえて傘先でひっくり返すと首を長く伸ばして素早く元の姿勢に戻した。脚や腹側には直棘状の小さな突起がずらり。これは特定外来生物カミツキガメに違いないと判断し、携帯で警察に通報。

種名・大きさ(約20cm)・特徴、居場所と目印、自分の名前を伝えて一旦携帯を切り、パトカー到着を待つことに。その間、通る車は皆、避けて通って行く。中にはわざわざ車から出てきて見ていく人もいて、カミツキガメと言うと、初めて実見されるのか「へえ～、これですか!」とびっくりされた。

居場所：春日部市立中野中学の東方の、農業用水路(武徳川)の左岸の市道上。

周囲の環境：用水路西側は水田。東側は市道を挟んで人家がある。

目印：市道東側の人家の表札にある住所と名前。

約30分後の10:40頃、パトカー到着。捕獲用ケージ1個を持参され、手袋で捕捉してケージに入れようとする。しかし、首を後方に伸ばして噛みつく恐れがあるため、私が傘先



をカメの腹下に差し込み、ケージの中に一気に放り込んで捕獲成功。

それから、発見時刻、発見時の状況、氏名、住所・電話番号を訊かれた後、この後のカメの処置[市か県の管轄部署に連絡し、持込要なら警察の方で届ける]について説明を受け、本件は終了した。

**その2**：実はカメツキガメ遭遇は今回で2回目。昨年4/16、自宅近くの用水路(安之堀川)内、アシの生える根元で交尾中の2匹を目撃。6:27～6:36交尾行動。証拠写真を撮り、早朝のため市役所ではなく警察に通報。

30分後にミニパトカーで警察官2人が捕殺網を持って到着するも、2匹は既に水中に姿を消してしまった。30分ほど上下流を探してくれたが、後の祭り。

警察官に6/23と同じことを訊かれ、私の撮った写真を携帯に写し撮り、終了した。

## ハシボソガラス繁殖放棄の顛末

長嶋宏之（蓮田市）

3月3日、巣材をくわえて飛ぶハシボソガラスを見た。3月21日、小枝やハンガーなどの巣材を運び、古巣の修理をしている。3月25日、巣内に1羽が座っている。他の1羽は近くにいない。3月28日、巣にいない。3月31日、巣に座って周りを気にしている。他の1羽は近くにいない。4月5日、巣にいない。30mほど離れたケヤキの新芽を食べていた。4月8日、巣にいない。その後、9日、11日、16日、18日とも巣にいなかった。今季は繁殖を止めたようだ。

4月20日、2羽のハシボソガラスが仲睦まじく電線に止まっていた。そこに1羽のハシボソガラスが飛んで来て、壮絶なバトルが始まった。足先を向け合い、大きな声で叫び、翼で叩き合い、地面に落ちてもまだ取っ組み合っている。余りの激しい戦いに、思わず仲裁に入ろうかと思ったが、バトルをしていた1羽が飛び去り、静かさが戻った。2羽のカップルの内の1羽は、この戦いをしているだけだった。



## 野鳥情報

- さいたま市見沼区染谷～加田屋新田** ◇4月8日、オオタカ1羽、上空を旋回。加田屋川にカルガモ18羽、コガモ10羽、カワセミ1羽、畑にヒバリ4羽、ツグミ7羽、タヒバリ7羽、ホオジロ2羽。4月14日、コジュケイの声、カケス5羽、シロハラ1羽。シメのくちばしが鉛色になった。5月5日、アカハラ1羽、枝移り。センダイムシクイ、2カ所でさえずる。キビタキ、やる気なさそうな小声のさえずり（小林みどり）。
- さいたま市見沼区猿花キャンプ場** ◇4月13日、シロハラがさえずりのような鳴き方をしていた。夏鳥はまだ来ない。4月18日、夏鳥、来た～！キビタキがさえずるが、いまいち自信なさそうな小さめの声。4月19日、ツツドリ1羽。センダイムシクイ2カ所でさえずる。キビタキとアカハラのさえずり。4月22日、ゴイサギの声。エゾムシクイさえずる。キビタキ♂1羽、さえずりを中断してフライキャッチを始めたと思ったら、またさえずる。ツミがひと声鳴くと、さかんにさえずっていたキビタキもシジュウカラも一斉にシーン…。10数秒後、真っ先にさえずり出したのはキビタキ（小林みどり）。
- さいたま市北区大宮第二公園** ◇4月14日、エナガ2羽が連れだって枝移り。1羽は尾の先端が曲がっている。4月30日、遊歩道沿いの植え込みにクロジ♂1羽。背に赤褐色味があるので若鳥と思われる（小林みどり）。
- さいたま市見沼区片柳** ◇4月14日、コチドリの声、ツミの声。キジ♂1羽他、数カ所で声を聞く。藪からモズ♀1羽、藪の中でもう1羽の声がする。巣があるのかもしれない。4月19日、コチドリ1羽、畑の上空を鳴きながら飛び回る。チョウゲンボウ1羽。ヒヨドリ5～6羽の群れが何回か飛んでゆく。セッカのさえずり、今季初。畑の隅で2羽のスズメが取っ組み合い（小林み

どり）。

- さいたま市岩槻区掛** ◇4月30日午前6時30分、ムナグロ58羽。ハクセキレイが羽毛をくわえて飛んでいた。ツバメ2羽が泥をくわえて飛んで行った。キジ♂、チュウサギ、ダイサギなど。5月7日午前6時30分、ムナグロ71羽、30羽の群れ。ヒバリ、ツバメ、ダイサギ、コチドリ2羽。5月12日午前7時頃、ムナグロ48羽、田植えの終わった緑の美しい田の畔に並んでいた。ツバメ4羽、チュウサギ3羽、ダイサギ2羽、セッカ1羽など。5月14日、カワセミ、ダイサギ、オオヨシキリ、ツバメ。ムナグロはシーズンが終わったのか、1羽もいなくなった（本多己秀・久文字）。
- さいたま市見沼区丸ヶ崎** ◇5月6日午前7時前、ムナグロ30羽、40羽、16羽、13羽の群れ、計97羽（本多己秀・久文字）。
- さいたま市西区島根** ◇5月7日、水田でムナグロ40羽+、タカブシギ2羽など。5月18日、キアシシギ4羽、ムナグロ5羽など。ダイサギの長い飾り羽が美しい（大塚純子）。
- 蓮田市西城沼公園とその周辺** ◇5月1日、乾いた休耕畑にコチドリが2羽。繁殖場所を探していたのだろうか。5月3日、ムクドリ4羽が取っ組み合いの大喧嘩。軒下の巣穴を取り合っているようだ。5月6日、屋敷林からコジュケイの囀りが久しぶりに響いた。5月31日、東沼の小さなアシ原でオオヨシキリが囀っていた。6月8日、コアジサシ1羽が西沼でダイビング。今年の初認だ。今年にはコアジサシが、ここでは少ない。その一方で最近、コジュケイがよく囀る。6月20日、コアジサシ1羽が小魚をくわえて西の方に飛び去った（長嶋宏之）。
- さいたま市桜区上大久保** ◇5月8日、作田調整池で今季もカルガモ母子。近所の住人によれば、幼鳥は当初10羽。この日は4羽に減っていた。安全そうに見える池だが、ヘビ、ネズミ、ネコ、カラス等、幼鳥を狙う敵は少なくないらしい。カワセミが1羽、キショウブ群生の上を掠めて飛び、老人ホームとマンションとの間の遊歩道へ姿を消した（大塚純子）。

**加須市水深 N36. 1023 E139. 6308** ◇5月11日、フリーマーケット用の砂利を敷いた空き地でコアジサシ2羽が、ここで営巣できるか確かめるかの様にタッチ&ゴーを繰り返していた。傍らでコチドリも2羽が追いかけてこ(長嶋宏之)。

**蓮田市関戸** ◇5月13日、ムナグロ10羽。コチドリ1羽が田圃で採餌。5月18日、ムナグロ10羽が採餌。ムナグロを見ていたら、ハチクマがカラス2羽に追尾されながら西から東に飛び去った。少し遠かったが、迫力を感じた(関口明宏)。

**松伏町松伏第2中学校東側** ◇5月18日、キョウジョシギ1羽(下写真)、田んぼの畦でムナグロ、キアシシギの中に1羽だけで採餌していた(森谷幸一)。



**鴻巣市大間一丁目** ◇5月20日午前零時過ぎ、夜空中でホトトギスが3声ばかり。今季の初音(榎本菜摘野)。

**さいたま市中央区本町西** ◇5月20日、与野公園の弁天池でカルガモ母子。幼鳥は12羽、孵化後1日足らずか(大塚純子)。

**稲荷山公園～入間川～西川越** ◇5月22日、コジュケイ、キジ、カルガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、ホトトギス、カッコウ、ヒメアマツバメ、イカルチドリ、コチドリ、キアシシギ、イソシギ、オオタカ、コゲラ、アオゲラ、チョウゲンボウ、カケス、オナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、イワツバメ、ウグイス、エナガ、メジロ、オオヨシキリ、セッカ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、ガビチョウなど(大畑祐二)。

**さいたま市桜区大久保領家、五関** ◇5月23日、学校橋で今年もイワツバメが営巣中ら

しく、10羽ほどが緩く弧を描いて飛び交う(大塚純子)。

**久喜市菖蒲町下栢間** ◇5月24日午後6時35分、ホトトギスの初音(小貫正徳・とみ子)。

**渡良瀬遊水地谷中湖** ◇5月26日昼前、想い出橋を渡って正面の水域の広い範囲を、クロハラアジサシ夏羽の成鳥が1羽、飛び回っていた(榎本秀和)。

**桶川市若宮** ◇6月3日午前4時55分、自宅寝室、久しぶりの「カッコウ カッコウ」の声で起こされた。昨年5月18日早朝に聞こえたが、今年もう桶川には来ないのかと思っていた(立岩恒久)。

**北本自然観察公園** ◇6月5日午後、コジュケイ、キジ、カルガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、バン、ツツドリ、カッコウ、ヒメアマツバメ、カワセミ、コゲラ、シジュウカラ、ツバメ、ウグイス、エナガ、メジロ、オオヨシキリ、キビタキ、カワラヒワ、ホオジロ、ガビチョウ、種不明の猛禽類など。葉が茂って姿があまり見られなかったが、声はかなり聞こえた(大畑祐二)。

**吉見町吉見総合運動公園** ◇6月5日、ヒバリ多数、オオヨシキリ多数、セッカ多数、カッコウ(声)、コチドリ1羽、チョウゲンボウ♀1羽♀1羽など(長嶋宏之)。

**熊谷市大麻生** ◇6月9日午前8時～10時頃、コジュケイ、キジ、シジュウカラ、ヤマガラ、オナガ、ホオジロ、キビタキ、コゲラ、カワラヒワ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、カルガモ、カイツブリ、ヒバリ、ツバメ、ホトトギス、カッコウ、メジロ、ウグイス、セッカ、ハクセキレイ、ガビチョウなど(大畑祐二)。

**狭山市入間川** ◇6月12日午前、広瀬橋付近でササゴイの営巣及び繁殖(幼鳥)を確認(吉田 勉)。

#### 表紙の写真

#### チドリ目シギ科クサシギ属コアオアシシギ

昨年8月21日。猛暑が続く中、さわやかさを少し早めに届けてくれた。

蟹瀬武男(さいたま市)



## 行事案内



三番瀬のミュビシギ(編集部)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

**参加費：**中学生以下無料、会員 100 円、一般 200 円。

**持ち物：**筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

**解散時刻：**特に記載のない場合正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意ください。

### 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：8月7日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園学習センター玄関前広場。

交通：JR高崎線北本駅西口から、北里メディカルセンター病院行きバス 8:36 発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大坂、岡安、近藤、柴田、立岩、飛田、内藤、永野、村上、山野、吉原(早)

見どころ：夏真っ盛り。緑いっぱい、昆虫いっぱいの公園で、自然と触れ合いましょう。よ〜く探せば鳥も隠れています。昨年の確認種は、ツミ、オオタカ、コゲラなど 17 種でした。さて今年は何？

交通：秩父鉄道 熊谷 8:00 発、または寄居 7:39 発に乗車。

担当：榎本、新井、鶴飼、倉崎、田島、千島、飛田、中川、村上、茂木

見どころ：この夏も大麻生は暑い！ 野鳥は真夏をどう過ごしているのでしょうか。飲み物を持って、のんびりゆっくり観察しませんか。おっと、マムシには気を付けて。ご注意：異常な猛暑が予想される場合は、探鳥会を中止することもあります。

### 千葉県・ふなばし三番瀬海浜公園探鳥会

期日：8月20日(土)

集合：午前9時10分、ふなばし三番瀬海浜公園バス停留所付近。注：JR船橋駅での受付はしません。

交通：JR武蔵野線南浦和 7:25→西船橋にて総武線 8:13 に乗換え、船橋 8:16 着。京成バス 8:30 発 船橋海浜公園行きに乗車し、終点下車。注：京成バス乗り場は京成船橋駅付近にあります。リーダーが案内します。担当：菱沼(一)、佐久間、佐野、杉本、菱沼(洋)、渡邊

見どころ：海なし県の埼玉のチェックリストに無いミュビシギ、ミヤコドリに出会う探鳥会です。去年は見られませんでした。アジサシとコアジサシの違いも観察しましょう。暑さ対策を忘れずに！

### 千葉県習志野市・谷津干潟探鳥会

期日：8月13日(土)

集合：午前9時30分、JR京葉線 南船橋駅前。

交通：JR武蔵野線 武蔵浦和 8:27→南浦和 8:31→京葉線直通 南船橋 9:22 着。

担当：杉本、伊藤、手塚、野村(修)、長谷部、菱沼(一)、菱沼(洋)、渡邊

見どころ：子育てが終わったシギ・チドリ達の秋の渡りです。春より華やかさはありませんが、珍鳥が出やすい季節です。

※暑さ対策は十分をお願いします。

### 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：8月14日(日)

集合：午前8時20分、秩父鉄道大麻生駅前。

### 『しらこぼと』袋づめの会

とき：8月20日(土) 午後3時～4時ころ

会場：会事務局 108 号室

## さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：8月21日(日)

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後路線バスで現地へ(注意：案内人は8時過ぎに北浦和駅東口到着予定です)。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：青木、赤堀、浅見(健)、浅見(徹)、楠見、小菅、小林(み)、新部、畠山、増田  
見どころ：道路の照り返しもきついです。口を開けたカラス！暑くても元気に囀るホオジロ！こんな鳥達を探しながらいつもより短いコースで、日影を選んで歩きます。

## 埼玉 Young 探鳥会 千葉県習志野市・谷津干潟探鳥会

期日：8月28日(日)

集合：午前9時、JR南船橋駅(改札出て高架下)

解散：午後1時30分頃となります。昼食をご持参ください。

担当：石塚(敬)、石塚(真)、小林(み)、佐野、野口(修)、菱沼(一)、廣田

見どころ：学生や、おおむね40歳位までの若者、お子様連れのご家族等をメインターゲットとしてスタートしたこの「Young探鳥会」(あえて年齢制限はありません)。その第5回は、この時期「鳥枯れ」状況の地元を離れ、ラムサール条約登録地「谷津干潟」繁殖を終え南へ帰るシギ・チ達、さあ何が出るかは当日のお楽しみ！暑さ対策を万全にしてお出かけください。

## リーダー研修会(要予約)

期日：9月4日(日) 午前9時30分～午後4時30分(受付開始：午前9時)。

会場：北本市・埼玉県自然学習センター

交通：JR高崎線北本駅西口から、北里メディカルセンター病院行きバス 8:36 発で「自然観察公園前」下車。

申し込み：初めてリーダー研修会に参加される方は、往復はがきに、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、推薦者の氏名(記載必須)

## サバンナシトド情報の訂正

日本野鳥の会埼玉 野鳥記録委員会

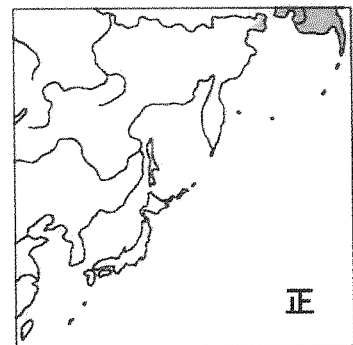
2016年5月31日付で、日本野鳥の会本部より『フィールドガイド日本の野鳥』増補改訂新版(2015年)の正誤表が発表されました。誤りのひとつはサバンナシトドの分布図に関するものでした。

当委員会は本誌2016年3月第383号に、サバンナシトドの県内の観察記録を発表しまし



た。その中で、誤分布図(左。分布域の色は褐色=ほぼ周年生息)を根拠にした記述があります。「本種はこれまで、北アメリカ大陸に生息する野鳥と

考えられていましたが、『フィールドガイド日本の野鳥』増補改訂新版(2015年)が示す分布図に拠れば、その生息域はロシアのカムチャツカ半島まで及ぶことが確認されているようです。」との文章です。正誤表で示された正しい分布図は右下の通り(分布域の色は桃色=主な繁殖地)です。したがって、この部分の文章を削除します。その他の部分の訂正はありません。



を明記して、長野誠治(

)へ。8月20日必着。役員・リーダーの方も電話またはメールで、必ず事前に参加申し込みをお願いします。

**初めての方の参加資格**：探鳥会にリーダーとして協力できる埼玉会員で、役員かリーダー1名以上から推薦された方。

その他：①筆記用具と簡単な観察用具を持参してください。

②昼食(弁当)は、普及部で用意します。



## 2016年9月～12月の行事予定

探鳥計画を立てるのにご利用ください。変更されることもありますので、確定情報は、その月の会誌『しらこぼと』の行事案内でご確認ください。

月	日	曜	探鳥地など
9	4	日	リーダー研修会
	11	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	18	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	18	日	坂戸市 高麗川
	19	祝月	寄居町 中間平
	19	祝月	さいたま市 大久保農耕地
	22	祝木	松伏町 松伏記念公園
	25	日	狭山市 入間川 [定例]
10	25	日	飯能市 天覧山
	2	日	北本市 石戸宿 [定例]
	2	日	さいたま市 民家園周辺 [定例]
	9	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	15	土	加須市 渡良瀬遊水地
	16	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	22	土	Young交流会(室内)
	22-23	土-日	長野県 戸隠高原 (要予約)
11	23	日	行田市 さきたま古墳公園
	30	日	松伏町 まつぶし緑の丘公園
	3	祝木	行田市 利根大堰
	5	土	上尾市 丸山公園
	6	日	春日部市 内牧公園
	10	木	羽生市 羽生水郷公園 (平日)
	13	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	19	土	さいたま市 見沼自然公園
	20	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	20	日	嵐山町 菅谷館都幾川
	23	祝水	本庄市 坂東大橋
	23	祝水	志木市 柳瀬川
	24	木	戸田市 彩湖 (平日)
	26	土	加須市 渡良瀬遊水地
	27	日	狭山市 入間川 [定例]
27	日	蓮田市 黒浜沼	
12	3	土	所沢市 狭山湖
	4	日	北本市 石戸宿 [定例]
	4	日	さいたま市 民家園周辺 [定例]
	4	日	加須市 加須はなさき公園
	10	土	さいたま市 岩槻文化公園
	11	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	14	水	加須市 渡良瀬遊水地 (平日)
	17	土	滑川町 武蔵丘陵森林公園
	17	土	戸田市 彩湖 Young

12	18	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	23	祝金	年末講演会
	25	日	幸手市 宇和田公園
1	4	水	さいたま市 さぎ山記念公園
	28-29	土-日	リーダー懇親会

## 9月～12月「あの鳥は、どこで」予報

2011～2015年の9月から12月の探鳥会で見られた野鳥は、県内で132種、県外を合わせると155種でした。いつもの県内の出現率(○)に加えて、今年10月に予定されている戸隠で見られた7種の出現率(●)も調べてみました。今年は見られるでしょうか。

- ヒメアマツバメ (入間川で9月に75%)
- サシバ (三室で9月に50%、高麗川で9月に40%)
- ノビタキ (松伏記念公園で9月に50%、民家園で10月に50%)
- エゾビタキ (石戸宿で10月に60%)
- コサメビタキ (石戸宿で10月に80%)
- ショウドウツバメ (大麻生と渡良瀬で10月に75%)
- ミサゴ (渡良瀬で10月に75%、11月に100%、12月に83%、狭山湖で12月に100%)
- チュウヒ (渡良瀬で10～12月に100%、民家園で10月に50%、12月に60%)
- ハヤブサ (渡良瀬で10月に75%、11月に100%、12月に83%、大麻生で12月に80%)
- クイナ (緑の丘公園で11月に60%：今年10月30日に開催)
- タゲリ (黒浜沼で11月に40%、渡良瀬で11月と12月に33%)
- カワアイサ (渡良瀬で11月に33%、12月に50%)
- エナガ (森林公園と岩槻文化公園で12月に100%、石戸宿と狭山湖で12月に80%)
- ウソ (石戸宿で12月に60%、大麻生と森林公園で12月に40%)
- オオアカゲラ (戸隠で10月に25%)
- ゴジュウカラ (戸隠で10月に100%)
- キバシリ (戸隠で10月に100%)
- ミソサザイ (戸隠で10月に75%)
- マミチャジナイ (戸隠で10月に100%)
- ムギマキ (戸隠で10月に100%)
- オオルリ (戸隠で10月に25%)



## 行事報告

11月7日(土) 松伏町 まつぶし緑の丘公園

参加：40名 天気：晴

ヒドリガモ マガモ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カウウ ゴイサギ アオサギ ダイサギ バン オオバン タゲリ イカルチドリ イソシギ オオタカ ノスリ カワセミ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス ムクドリ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ オオジュリン (34種) (番外：ドバト) 公園の池のカモは4種と寂しい限りだが、周辺の屋敷林では冬鳥が姿を現し楽しませてくれた。シラコバトの姿が最後まで見られなかったのは残念。(橋口長和)

2月13日(土) さいたま市 岩槻文化公園

参加：57名 天気：曇後晴

ヒドリガモ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カウウ アオサギ オオバン イカルチドリ タシギ イソシギ オオタカ カワセミ アリスイ コゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン (37種) (番外：ドバト) 前半は村国池でカワセミが観察できた程度で鳥の出が悪くて幾分焦る。しかし後半には、コース南端でベニマシコ♂1♀2の群れがセイタカアワダチソウの実を採餌しているところをじっくり観察。さらに釣り堀りの脇では久しぶりにアリスイも見られて、終わってみれば37種。数人の参加者から「来て本当に良かった」とのねぎらいの言葉をいただいた。担当としては冷や冷やするけれど、やっぱり文化公園は面白い。(長野誠治)

2月14日(日) 熊谷市 大麻生

参加：19名 天気：曇

キジ カルガモ カイツブリ キジバト クサシ

ギ セグロカモメ ミサゴ ノスリ カワセミ コゲラ アカゲラ アオゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ アカハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ イカル ホオジロ カシラダカ アオジ (36種) (番外：ドバト、ガビチョウ) 雨は上がって気温が高くなった。アオジ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、アカハラ、シメなどを見ながら河原に向かうと100羽近いイカルの大群に出会った。ミサゴが樹に止まり、森に入ると、アカゲラとアオゲラが同時に現れた。池ではベニマシコの水浴びなどが見られ、上々の探鳥会だった。(新井 巖)

2月14日(日) 所沢市 狭山湖

雨のため中止。(石光 章)

2月20日(土) 上尾市 丸山公園

参加：26名 天気：曇後雨

キジ マガモ カルガモ カイツブリ キジバト カウウ オオバン カワセミ コゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ルリビタキ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (30種) (番外：ドバト) スタート直後にシロハラとルリビタキが出現。シロハラは飛んでしまったが、ルリビタキは全員で見ることができた。池には夏羽と冬羽のカイツブリが5羽居り、トイレ休憩の場所ではホオジロの♂♀と色のうすい若鳥?合計4羽を皆で比較観察して楽しんだ。参加者が少ない分まとまりも良く、探鳥会としては、これ位の人数の方がやりやすいのかなと感じた。10時30分頃雨が降り出した為、出発地には戻らず公園中央の小屋で鳥合わせをして解散した。(吉原早苗)

2月20日(土) さいたま市 芝川第一調節池 Young

参加：42名 天気：曇後雨

コハクチョウ オオハクチョウ オカヨシガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ スズガモ ミコアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ

キジバト カワウ アオサギ ダイサギ コサギ  
 バン オオバン イソシギ ユリカモメ セグロ  
 カモメ チュウヒ ハイタカ オオタカ ノスリ  
 カワセミ コゲラ チョウゲンボウ モズ ハシ  
 ボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒ  
 ヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ  
 ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセ  
 キレイ タヒバリ カワラヒワ ベニマシコ シ  
 メ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリ  
 ン (52種) (番外：ドバト) 大盛況に終えた前回は  
 “本家”「東京」との共催。今回が実質「埼玉」  
 としてのスタートだったのだが、数日前からの  
 “悪天候(大荒れ?)” 予報。それにもかかわらず  
 42名のご参加！ 時おり雨が落ちる状況の中、チ  
 ユウヒの飛翔、オオハクチョウとコハクチョウは  
 その存在感を示し、ベニマシコ(♂♀)が並んでポ  
 ージング。主演達の登場に胸を撫で下ろすも、お  
 昼前には“本降り”となり、あえなく打ち切り。  
 そして鳥合せ…えっ？ 52種！ これこそ「Young  
 探」の底力。 (石塚敬二郎)

2月20日(土) 『しらこぼと』袋づめの会  
 ボランティア：9名

宇野澤晃、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、  
 大坂幸男、佐久間博文、志村佐治、藤掛保司、三  
 ッ矢正安

2月21日(日) さいたま市 三室地区  
 参加：67名 天気：曇

コジュケイ オカヨシガモ ヨシガモ ヒドリガ  
 モ カルガモ ハシビロガモ コガモ カイツブ  
 リ キジバト カワウ ゴイサギ アオサギ ダイ  
 サギ バン オオバン オオタカ モズ ハシ  
 ボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒ  
 バリ ヒヨドリ メジロ ムクドリ アカハラ  
 ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ  
 セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ  
 カシラダカ アオジ (35種) 風は冷たかったけ  
 れど、光はもう春。鳥たちが、やけに綺麗に見え  
 た。つがいになったヨシガモ、オカヨシガモ、ハ  
 シビロガモをじっくりと観察できた。(浅見 徹)

2月21日(日) 志木市 柳瀬川  
 参加：39名 天気：曇後晴

ヒドリガモ マガモ カルガモ オナガガモ コ

ガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ  
 ダイサギ コサギ オオバン イカルチドリ イ  
 ソシギ セグロカモメ トビ モズ ハシボソガ  
 ラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ  
 ヒヨドリ メジロ ムクドリ ツグミ スズメ  
 キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タ  
 ヒバリ カワラヒワ シメ ホオジロ (33種) (番  
 外：ドバト) 今回は非会員が多かったので、初  
 めにフィールドスコープに野鳥が入ったら遠慮せ  
 ず直ぐ見るように強調した。出発時の天気は曇り。  
 土手に出ると冷たい北風が吹いてくる。柳瀬川の  
 改修工事も終わり、野鳥達も安心して河原や川面  
 に休んでいる。スコープに入る野鳥を見てあちこ  
 ちで喜びの歓声上がる。タカの仲間は遠くにト  
 ビを確認しただけで、野鳥は全体的に少なかった  
 が参加者はそれなりに楽しめたようであった。鳥  
 合わせの場所である旧村山快哉堂(志木街道にあ  
 った薬問屋)では、つるし雛の展示が行われ季節  
 感も感じられた探鳥会であった。(持丸順彰)

2月28日(日) 群馬県館林市 多々良沼  
 参加：20名 天気：晴

コハクチョウ ヒドリガモ アメリカヒドリ マ  
 ガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ コ  
 ガモ ホシハジロ キンクロハジロ ミコアイサ  
 カイツブリ カンムリカイツブリ ハジロカイツ  
 ブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ  
 コサギ クイナ バン オオバン イソシギ オ  
 ジロトウネン セグロカモメ ミサゴ トビ チ  
 ユウヒ オオタカ ノスリ カワセミ モズ ハ  
 シボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ  
 ヒバリ ヒヨドリ ムクドリ ツグミ ジョウビ  
 タキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ  
 タヒバリ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラ  
 ダカ アオジ オオジュリン (50種) (番外：ドバ  
 ト) 絶好の鳥見日和。多々良沼に行く途中、「道  
 の駅 はにゅう」に寄って一休み。道の駅の前の利  
 根川の土手から観察開始。ミサゴ等の猛禽類を見  
 る事が出来、上々の滑り出し。駐車場を出る時は、  
 ノスリの見送りのおまけつき。多々良沼に着いて  
 カモ達を観察し、アメリカヒドリやミコアイサを  
 見る事が出来た。又、アシ原からちよこちよク  
 イナが現れた。昼食後はガバ沼へ移動。ガバ沼で  
 アメリカコハクチョウを見る事が出来た。50種を  
 観察して楽しい1日を過した。(入山 博)



● 「見沼たんぼ・さいたま市&市民ネットワーク」から「見沼・さぎ山交流広場」へ

ネットワークの平成 28 年度総会が 5 月 25 日(水)さいたま市緑区さぎ山記念館で開催され、藤掛保司幹事が出席しました。平成 19 年 11 月に設立されたネットワークは、この総会を以て終了し、「見沼・さぎ山交流広場」が活動を引き継ぐことになりました。

6 月 1 日(水)さいたま市大宮区役所で「見沼・さぎ山交流広場」設立総会が開催され、小林みどり副代表と藤掛保司幹事が出席しました。総会に引き続いて第 1 回運営会議が開かれ、シーズン企画、展示企画、「わたしの好きな見沼たんぼ 2016」写真コンクールなどについて討議されました。

● 当会サイト進化中

IT 委員会委員長が、浅見徹から佐野和宏に交代しました。トップページのデザインを変更し、動画のページを新設しました。1 日アクセス数 100 回以上を昨年 10 月から 9 ヶ月連続記録しています。更に進化中です。

● 会員の普及活動

6 月 4 日(土)、新ハイキングクラブ主催「野鳥を観る・知る 第 18 回」が、西浦和駅から秋ヶ瀬公園へ歩くコースで実施され、小林みどり、浅見徹、工藤洋三、藤田敏恵、星進が指導。参加者 15 名。25 種を観察しました。

6 月 11 日(土)、さいたま市立浦和博物館主催の親子探鳥会が緑区三室地区で開催され、楠見邦博、畠山孝、小菅靖、石塚敬二郎

が、親子 45 名の参加者を指導。「鳥のように未来の世界に飛んで行こうよ」のテーマで、水田で飛ぶツバメから、鳥たちの旅に話が広がり、雑木林では NPO 法人のリーダーから木と水についての話を聞きました。

● 会員数は

7 月 1 日現在 1,750 人。

活動と予定

● 6 月の活動

6 月 11 日(土)『しらこぼと』7 月号校正(海老原教子、海老原美夫、小林みどり、志村佐治、藤掛保司、長嶋宏之)。

6 月 19 日(日)役員会(司会:佐野和宏、各部の報告、総会準備、9 月~12 月の行事予定・その他)。

6 月 20 日(月)『野鳥』誌を購読しない会員向け、『しらこぼと』7 月号を郵便局から発送(事務局)。

● 8 月の予定

8 月 6 日(土)編集部会。普及部会。

8 月 13 日(土)9 月号校正(午後 4 時から)。

8 月 20 日(土)袋づめの会(午後 3 時から)。

8 月 21 日(日)役員会(午後 4 時から)。

編集後記

5 月下旬、新潟県の松之山森の学校キョロロという所に行きました。当日の朝は、4 時半から「松之山大探鳥会」が開催されたのですが、着いたのは午後。鳥の声はほとんど聞こえない。でも、散策路を歩くと、トンボ、チョウ、ハンミョウなど昆虫がいっぱい!! また、行きたいな。(藤原)

しらこぼと 2016 年 8 月号(第 388 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 海老原美夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
郵便振替 00190-3-121130 http://www.wbsj-saitama.org 事務局 office@wbsj-saitama.org
編集部への原稿 yamazekuru@hotmail.com 編集部への野鳥情報 toridayori@hotmail.com
住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル
(公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org
本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社